



医療センター

ニュース
News

特集 診療科訪問／放射線治療科
がんの放射線治療において
幅広い活用が期待できる装置を新規導入

ニュース&トピックス





・ 特集 診療科訪問／放射線治療科

がんの放射線治療において 幅広い活用が期待できる装置を新規導入

今年2月に完成した放射線治療棟には、がんの放射線治療の充実を図るため、新しい設備が整えられました。新規導入された放射線治療装置システムは、病巣に対して集中的に照射する定位照射（ピンポイント照射）が可能で、さまざまながん治療に適応できます。新たな治療装置によって患者さんが受けるメリットなど、放射線治療専門医の南平結衣医師と医学物理士の後藤昌希技師にお話をうかがいました。

身体への負担が少ない放射線治療

——放射線治療とはどのような治療なのか、教えてください。

南平 治療室の寝台の上に横たわっていただき、がんの部分に放射線を照射して治療します。痛みはありませんし、手術のように身体を切ることもな

く、麻酔も行いません。放射線治療は大きく分けて、根治を目指す治療、痛みや出血などのがんの諸症状を和らげる緩和治療があります。がんの種類や大きさ、部位などによって放射線の量、照射する場所、回数が変わります。また、治療方法により身体への負担や副作用の程度が異なるため、メリットやリスクを理解してもらったうえで、患者さんの意志や目的に応じた最適な治療を目指します。また、手術や抗がん剤と併用したほうが効果の高い場合は、組み合わせた治療も行います。

——がんの治療には主に手術、化学療法、放射線治療がありますが、放射線治療のメリットとは何でしょうか。

南平 放射線治療の最大のメリットは身体への負担が少ないことで、手術や化学療法が難しい高齢の方にも対応できます。1回あたりの照射時間は15分から30分程度と短く、通院治療も可能で、多くの方が普段どおりの生活を続けられます。

——治療方法によりリスクが異なるとのことですが、副作用の心配はないのでしょうか。

南平 副作用は照射した場所のみに起こります。皮膚の赤みや腫れ、あるいは頭痛や疲労感、食欲不振などの症状が出ますが、大半が一時的で、次第に落ち着いていきます。根治を目的とした治療では、まれに治療を終了して半年から1年以上経過して、機能不全などの障害が現れる場合がありますので、事前にそうしたリスクを説明しますし、相談にも対応します。一方で、症状緩和のための照射では、副作用はほとんど出ません。がんの完全な消失を目的としていないため、放射線量は根治治療よりも少なく、放射線による影響が軽減できるからです。

誤差0.5ミリ以内の高い精度で照射

——今回導入された治療装置で行う「定位放射線治療」とはどんな治療方法ですか。

南平 多方向から、がんの部分に放射線を集中して照射する治療方法です。周囲の放射線をあてたくない部分（正常な臓器など）を避けて照射できます。正常組織のダメージを抑え、副作用も減らせるため、通常の放射線治療に比べて1回にたくさんの放射線量をあてることができます。1回の線量を大きくする「寡分割照射^{かぶんかつしょうしゃ}」が可能となって、治療回数を減らすことができ、通院の負担も少なくな



南平結衣 医師

放射線治療科主任。
日本医学放射線学会放射線治療専門
医・日本乳がん検診精度管理中央機
構マンモグラフィ読影認定医

ります。

——それ以外に、定位放射線治療のメリットはありますか。

南平 これまでは設備がなかったため、定位照射が必要な場合は他の医療機関で治療を受けてもらう必要があったのですが、当院で治療が可能となったことで、患者さんはご自身の主治医がいる病院で安心して治療を受けていただけるようになりました。放射線治療科としても、院内の主治医と密に連携しながら治療を進めることができます。

——放射線治療にあたっては治療計画が立てられるそうですが、どういう流れで進められるのでしょうか。

南平 治療する部位を正確に把握するために、放射線治療計画専用のCTを撮影します。撮影データを元に既存の検査などとも照合しながら、どの角度から、どのような形で、どれくらいの量の放射線を患部へ照射するかの治療計画を立てていきます。シミュレーションした治療計画が実際に装置で再現できるかを、医学物理士の後藤技師と検証を繰り返し、最終確認を終えたのちに治療を開始します。

——医学物理士とは、どんな医療職でしょうか。

後藤 医学物理士は放射線物理の専門家を指し、放射線治療装置の品質管理と、医師と協力して治療計画を立てるのが主な仕事です。治療計画では



後藤昌希 技師

医学物理士・診療放射線技師・放射線取扱主任者（専任）



放射線治療科の皆さん。安心して治療を受けられるよう、チーム一丸で患者をサポートしている

照射線量分布の最適化や評価、治療精度の検証を行い、治療の安全確保とともに、より効果的な治療の立案に努めています。

——治療装置の品質管理業務とはどんなことをするのですか。

後藤 放射線治療棟の新設にあたって、放射線治療装置の機能を最大限に活用できるよう、ソフトウェアを搭載した、定位放射線治療装置を導入しました。誤差0.5ミリ以内の精度を担保するために、定期的な品質管理を行って、装置が適切に機能していることを確認しています。品質管理業務や治療計画業務には、医学物理的な研究も必要なため、講習会やトレーニングにも積極的に参加し、最新情報を収集するようにしています。新たな放射線治療装置を最大限に活かしていくためにも、知識や技術の向上を怠らないようにしています。

チーム体制で患者をサポート

——治療に際して心がけていることはありますか。

南平 放射線治療は根治治療から症状の緩和まで目的も幅広く、患者さんご本人の意志や希望を治療に反映できるよう、しっかり話を聞くことを大切にしています。初診時には治療に関する情報をたくさんお伝えしますので、治療のたびにわからないことはないか、尋ねるようにしています。写真や

イラストを使ってわかりやすく説明するとともに、患者さんが話しやすい雰囲気づくりも心がけています。

後藤 患者さんと接する機会は少ないですが、医師をはじめ放射線技師や専従看護師と協力して、情報を共有しながら、より良い治療を提供できるように努めています。

——最後に、南平先生から患者の皆さんへ向けてメッセージをお願いします。

南平 放射線治療装置が新しくなって、より安全に、より精密に放射線治療ができるようになりました。患者さんにとっては照射の回数を減らせるなどのメリットもあります。少しでも不安を取り除いて治療に臨めるよう、チームで患者さんを全面的にサポートしますので、安心して治療を受けていただけたらと思います。



放射線治療室に隣接する操作室で、モニターを確認しながら治療を進める診療放射線技師

放射線治療の流れ

放射線治療科では、根治を目指す治療、緩和治療など、一人一人の目的に合わせた治療を提供。話しやすい雰囲気づくりを心がけるほか、細やかな声掛けや、写真・イラストを用いた説明で患者さんの不安の解消に努めています。

※治療の適応確認や情報共有のため、原則的に医療機関（主治医）から予約の手続きをしていただいた上で受診してください。



1 医師による診察

診察では、医師が治療内容や方針、治療中の注意事項などを説明すると併せて、患者さんの要望なども確認するために、30分から1時間と十分な時間を確保するようにしています

2 看護師による面談

治療の開始前には、看護師（専従）が医師からの説明についての理解度を確認し、不安や誤解がある場合は払拭できるように、面談の機会を設けています

3 治療計画の作成

治療計画ソフトウェアを使って、放射線を照射する最適な方向や強さを決めたり、正しく線量があたるかどうかを検証したりしながら、計画を立てていきます

4 放射線治療の開始

治療に際しては精密な照射をするため、患者さんには治療計画専用CT撮影時と同じ体位を正確に取っていただく必要があります。寝台の高さや体勢を調整して、正しく位置合わせができると治療が始まります

令和6年7月1日から 三重県立総合医療センター 基本理念及び 基本方針を変更しました。

平成24年に地方独立行政法人として発足した際に基本理念・基本方針を制定してから12年が経過いたしました。この度、院内で見直しを行い、医療を取り巻く環境の変化や地域の中での当院の役割を踏まえてアップデートいたしました。

また、令和4年3月に日本小児科学会において医療における子ども憲章が制定されたことを受け、令和6年7月1日付けで「受診される子どもの権利」を制定しました。子どもの患者さんにつきましても、可能な限り考えや思いを尊重させていただくとともに、その発達段階に応じた適切な対応に努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

基本理念

1. 救命救急、高度医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
2. 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

基本方針

1. 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
2. 県の基幹病院として、医療の安全と質を高め、次代を担う優れた医療人材の育成に貢献します。
3. 県内の医療機関等との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
4. 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
5. 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

受診される子どもの権利

1. あなたは、どのようなときでも一人の人間として大切にされ、よりよい医療を受けることができます。
2. あなたは、病気や治療のことについて分かりやすく説明してもらったうえで、あなたの考えや気持ちを家族や病院の人に伝えることができます。
3. あなたは、他の人に知られたくないことがあれば、病院の人に伝えることで秘密にすることができます。
4. あなたの学んだり遊んだりしたいという気持ちや、おうちの人と一緒にいたいという気持ちは、どのようなときでも大切にされます。

今後とも安全で良質な医療の提供に向け、職員一同取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

● 生命の駅伝ランナー出迎え式 および募金贈呈を行いました。

5月21日(火)に当院正面玄関において、「生命の駅伝」ランナーの出迎え式および募金の贈呈を行いました。募金を呼びかけながら13日間かけて県内各地をリレー形式で回る「生命の駅伝」は、がん研究を支援し、がんの患者さんとご家族を応援することを目的としています。今年30回目を迎え、当院も毎年サポートさせていただいています。



● 当院医師による、生活習慣病教室を開催しました。



7月18日(木)に当院7階講堂にて脳神経内科部長 伊藤伸朗医師による生活習慣病教室を開催しました。「認知症の診療とケア」をテーマに、地域住民約40名にご参加いただきました。当院では原則奇数月の第3木曜日に生活習慣病教室を行なっております。事前申し込み・参加費はいりませんのでお気軽にご参加ください。

次回の生活習慣病教室

日時/9月19日(木) 14時～ テーマ/フレイル(※)について

※加齢によって身体機能や認知機能が徐々に低下し、入付き合いや社会活動への参加が減少した状態

講師/総合内科部長 森谷勲医師、理学療法士 内田智之技師

場所/当院7階講堂

● 心臓血管外科の無料相談フォームをご利用ください。

心臓の手術に関して患者さんやご家族の方から、当院の心臓血管外科専門医に直接相談していただくことができる「心臓血管外科無料相談フォーム」を当院ウェブサイトにて設置しています。当院ウェブサイトの「相談フォーム」に投稿していただいた内容は、当院の心臓血管外科専門医が確認し、後日メールにて回答いたします。

心臓血管外科の
無料相談フォームは
こちらから



① 心臓の手術に関するお悩みを「相談フォーム」に投稿する

② 当院の心臓血管外科専門医がメールにて回答する



※土日祝、夜間等の緊急の回答はいたしかねます。急ぎの場合は電話にてお問合せください。

※予約の取得・変更・キャンセルについては、当フォームでは対応しておりません。電話にてご相談ください。

※インターネットメールで回答させていただきますので、インターネットメール (sing@mie-gmc.jp) を受信できるようにメール設定をお願いします。また、メールアドレス以外の連絡先も記載していただくと、より確実に連絡をすることができます。

休診情報

8月1日現在

完全休診

耳鼻いんこう科 | 9/2 (月)、9/19 (木)

皮膚科 | 9/6 (金)

三重県立総合医療センター 検索

<https://www.mie-gmc.jp/>

都合により変更させていただく場合がありますので、最新の情報はウェブサイト・電話・メールにてご確認ください。



外来診療医師担当表

令和6年8月1日(木) 現在

診療科	曜日	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
総合内科初診	1診	大須賀	1診	岡本	1診	西田
総合内科	2診	感染症内科 白木	2診	血液内科 和田	2診	白木
消化器内科	3診	森谷	3診	井上	3診	山中/水谷
	4診	井上	4診	森谷	4診(午前)	小林
消化器内科・循環器内科	5診	—	5診	水谷	5診	腎臓内科 村田
循環器内科初診	6診	増田	6診	加藤	6診	増田
消化器内科・循環器内科	7診	加藤	7診	中澤	7診	谷垣内
ペースメーカー外来	—	—	—	—	—	—

※消化器内科水曜日の3診は、山中が第1週・第3週・第5週を担当し、水谷が第2週・第4週を担当します。
 ※総合内科初診木曜日の1診は、小林が第1週・第3週・第5週を担当し、上杉が第2週・第4週を担当します。
 ※消化器内科木曜日の3診は、西浦が第1週・第3週・第5週を担当し、小林が第2週・第4週を担当します。
 ※消化器内科金曜日の3診は、中澤が第1週・第3週・第5週を担当し、上杉が第2週・第4週を担当します。

呼吸器センター	初診	1診	藤原	1診	吉田	1診	後藤	1診	三木	1診	児玉*
	再診	—	—	—	—	2診	増田	—	—	—	—
	再診	3診	後藤	3診	三木	3診	児玉	3診	吉田	3診	藤原

※緩和ケア外来希望の方は金曜日9時~11時(完全予約制)

消化器・一般外科	1診	横江	1診(午前)	担当医	1診	尾嶋	1診	毛利	1診(午前)	担当医
	2診	尾嶋	—	—	2診	山本	2診(午前)	森本	—	—
	3診(午前)	毛利	—	—	3診(午前)	横江	—	—	—	—
小児外科	—	—	2診	内田	—	—	2診(14:00~)	内田	—	—
乳腺外科	—	—	1診(午後)	小島	—	—	—	—	2診	野呂
	3診(午後)	乳腺外来	3診	山下	3診(15:00~)	乳腺外来	3診(午前)	山下	3診(午前)	乳腺外来
形成外科	—	—	—	—	第1週(9:00~11:30) 第2週~5週(8:30~15:30)	橋本	—	—	—	—
心臓血管外科/呼吸器外科	1診	近藤	1診	新保	1診	井上	—	—	1診	澤田
	2診	庄村	2診	鈴木	2診	田邊(第2~5週)	—	—	—	—
脳神経外科	1診	和田	1診	黒田	1診	寺島	予約診	担当医	1診	佐野
	2診	亀井	午前予約制	脳血管外来*(佐野)	—	—	—	—	2診	亀井
	—	—	—	—	—	—	—	—	午後予約制	脊椎髄外来

※第2週・第4週 火曜日 9時~11時(完全予約制)

脳神経内科	1診	伊藤	1診	伊藤	1診	掃部/伊藤	1診	大久保/岡本	1診	掃部
	2診	—	2診	掃部	2診	西垣	2診	岡本/大久保	2診	伊藤

※水曜日の1診は掃部が第1週・第3週・第5週を担当し、伊藤が第2週・第4週を担当します。
 ※木曜日の1診は大久保が第1週・第3週・第5週を担当し、岡本が第2週・第4週を担当します。
 ※木曜日の2診は岡本が第1週・第3週・第5週を担当し、大久保が第2週・第4週を担当します。

小児科	1診	杉山	1診	西森	予約診	太田	1診	太田	1診	杉山
	2診	西森	2診	太田	予約診	杉山	2診	西森	2診	鈴木
	3診	太田	3診	荻野	予約診	大森/山口	3診	中村	3診	林
産婦人科	1診	平野(1・3・5週) 大里(2・4週)(初診)	1診	小村(1・3週) 杉本(2・4・5週)(初診)	1診	古橋(初診)	1診	竹内(初診)	1診	河村(初診)
整形外科	1診(午前)	北尾(膝関節外来、紹介)	1診(午前)	北尾(再診)	—	—	1診(午前)	奥山(再診)	1診(午前)	奥山(紹介、初診)
	1診(午後)	—	1診(午後)	—	—	—	1診(午後)	—	1診(午後)	—
	2診(午前)	柿本(紹介、初診、膝)	2診(午前)	服部佳生(紹介、初診)	—	—	2診(午前)	服部徹也(紹介、初診、膝)	2診(午前)	岡本(紹介、初診)
皮膚科	1診	中西	1診	加古	1診	加古	1診	杉岡	1診	加古
泌尿器科	1診	神田	—	—	1診	辻	1診	松浦	1診	伊藤
	予約診	松浦	—	—	予約診	神田	—	—	予約診	辻
	予約診	辻	—	—	予約診	伊藤	—	—	予約診	松浦
眼科	1診	佐宗	1診	佐宗(午後休診)	1診	佐宗	1診	佐宗	1診	佐宗
耳鼻いんこう科	1診	鈴木(紹介、初診のみ)	1診	鈴木	1診	鈴木	1診	鈴木	1診	鈴木
精神科	1診	山下	1診	山下	1診	山下	1診	山下	1診	山下
放射線科	1診	南平	1診	南平/野本	1診	南平/高田	1診	南平/佐貴	1診	南平

※金曜日の紹介予約は奥山が毎週担当します。
 ※金曜日の初診は奥山が第1・第3・第5週を担当し、岡本が第2・第4週を担当します。

三重県立総合医療センターの基本理念・基本方針（令和6年7月1日改定）

基本理念

- 救命救急、高度医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

基本方針

- 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 県の基幹病院として、医療の安全と質を高め、次代を担う優れた医療人材の育成に貢献します。
- 県内の医療機関等との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

受診される皆様の権利

- 人として尊重された最善の医療を受ける権利があります。
- 医療行為についての情報提供と説明を受ける権利があります。
- 患者の皆様のご理解と同意に基づいた医療を受ける権利があります。
- 診療情報の保護により、プライバシーを尊重される権利があります。

受診される子どもの権利

- あなたは、どのようなときでも一人の人間として大切にされ、よりよい医療を受けることができます。
- あなたは、病気や治療のことについて分かりやすく説明してもらったうえで、あなたの考えや気持ちを家族や病院の人に伝えることができます。
- あなたは、他の人に知られたくないことがあれば、病院の人に伝えることで秘密にすることができます。
- あなたの学んだり遊んだりしたいという気持ちや、おうちの人と一緒にいたいという気持ちは、どのようなときでも大切にされます。

守っていただく事項

- 心身の健康状態などの必要事項については、正確で詳細な情報をお伝えください。
- 医療行為は、理解と合意のうえで受けてください。
- お互いに、礼儀正しく社会的ルールをお守りください。
- 医療費の支払い請求を受けたときは、速やかにお支払いください。

臨床研修基本理念・基本方針

臨床研修基本理念

「人の痛みがわかり、相手の立場で考えられる」など医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学や医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、日常診療で頻繁に関わる病気や病態に適切に対応できるよう、医師としての基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身につける。

臨床研修基本方針

- 患者及び家族とのコミュニケーション能力を習得し、医師としての人格を涵養する。
- 全人的医療を実践することができるプライマリ・ケアの基本的診療能力を習得する。
- チーム医療の一員としての役割を理解し、協調性をもってチーム医療を実践する。
- 医療安全を理解し、安全な医療を遂行する能力を身につける。
- 医療人としての倫理観を養成する。

地方独立行政法人 三重県立総合医療センター広報紙編集委員会 令和6年8月／発行号
所在地／〒510-8561 三重県四日市市大字日永5450-132
電話／059-345-2321（代表） FAX／059-347-3500 メール／sogohos@mie-gmc.jp
<https://www.mie-gmc.jp/>

ホーム
ページ



交通の
ご案内

